

# あいとぴあ

相原まちづくり協議会情報誌

2009年6月25日

発行 相原まちづくり協議会

責任者 理事長 杉崎太吉

所在地 町田市相原町 798-1

電話 042 (774) 8005

## 相原駅周辺街づくり等検討会が報告会

### 来年3月までに駅周辺街づくり構想案を提出

町田街道の交通渋滞の元凶と言われる横浜線大戸踏切（駅前の踏切）の立体化は相原町の長年の願望です。このため、これまで強く要望してきました。これらを受け東京都は平成18年4月に大戸踏切の立体化を都市計画道路の第3次事業化計画として決定しました。大戸踏切の立体化にあわせて相原駅周辺の良好な地域環境を実現するため、東京都の呼びかけで「相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会」（石井悟座長）が平成18年10月に発足しました。検討会メンバーは東京都3人、町田市15人、地元委員18人で構成されています。検討会では東京都から都道整備案として大戸踏切問題について中央橋から八千代銀行（旧）まで地下に入る立体交差（アンダーパス）など3種類の案と6つのパターンが提示されました。検討会ではこれらをもとに協議してきました。アンダーパスの類似事例（小平・府中等）を見学、また専門家を交えて具体的な街づくりの検討を行ってきました。平成19年に 駅東の街づくりを検討する分科会 駅西の街づくりを検討する分科会 大戸踏切立体化と都道整備に関する分科会を立ち上げて、具体的な検討会を行ってきました。平成20年にはJR青梅線昭島駅・福生駅周辺街

作りの視察調査を行い、関連類似事例の説明を受け検討してきました。

これらをもとに今年3月22日に堺市民センターで「相原駅周辺街づくり及び都道整備2008年報告会」が開かれました。検討会座長の石井悟氏から、これまでの全体の中間報告、駅東の街づくりを検討する分科会代表の杉崎太吉氏、大戸踏切立体化と都道整備に関する分科会及び駅西の街づくりを検討する分科会代表の中島孝幸氏から、それぞれ分科会の検討状況の報告がありました。この後、日大理工学部建築学科助教の山崎誠子氏から「相原町と街づくり」の講演がありました。

報告会での説明によると、計画案としてA案（現状のまま市街化が進行した相原駅周辺）B案（相原駅周辺の環境を活かし、快適に回遊できる街づくり）C案（住む人を増やし、活力を生む相原街づくり）の3案があります。しかし、それぞれ長所短所があるため、調整案を検討しています。踏切の立体化によって住民の生活が分断されたり、支障きたさないよう、また自然環境を生かし、賑わいのある街づくりに結びつくよう、検討しています。来年3月までに検討会案をまとめ、東京都に提出する予定です。



5月25日に第14回相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会が開かれ、東京都から大戸踏切立体化案の模型が示されました。模型は道路の両側に拡張の場合、北側の拡張の場合、南側に拡張の場合の3種類になっています。写真は模型を上から見たものです。

## 相原地区市政懇談会を開催 中央公園までの道路拡張工事は今年度中に

石坂丈一町田市長ら市幹部との相原地区市政懇談会が1月30日、堺市民センターで開かれました。この中で石坂市長は「今月初めに大地沢の復旧状況を見せてもらった。本沢ダムからあの辺までは野鳥観察で30年来通っているところでもあり、岩がむき出しになり、この間の豪雨が、かなりひどい状況だったということがわかります。河川の問題は腰を据えて取り組む課題と思っています」とあいさつしました。市側の主な回答は以下の通りです。

**<質問>** 相原地区は病院が少なく相模原市の病院を利用する人が多いが、相模原市の病院では健康診断、予防接種などで町田市の支援を受ける形式での受診ができません。町田市と相模原市の協力によって、どちらの市でも同じ条件で受けられるサービスの向上をお願いしたい。

**<回答>** すでに乳幼児検診(3ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児検診)については相模原市と2002年10月から相互受診が可能となっています。しかし、健康診断は、相模原市と町田市では仕組みが、かなり違うため、調整ができていません。例えば、対象年齢は町田市が「18歳から」、相模原市は「40歳から」です。検診項目も町田市が胸部レントゲン、眼底検査、心電図、貧血検査について1つでも疑いがあれば、実施可能ですが、相模原市は血圧、肥満、高脂結晶の脂質、糖尿病の疑いが4項目すべて揃わないと心電図、眼底検査、貧血検査が受けられません。以上のことから現状では相互受診は難しいです。

**<質問>** 昨年、ゲリラ豪雨で大戸町内会では境川氾濫になって被害を受けたが、早急に河川改修工事を実施して欲しい。

**<回答>** 境川の管理は神奈川県のため、要望を神奈川県庁に伝えています。2008年は要望を3回行いました。相原地区の境川は二国橋を境に上流は津久井土木事務所が、下流は相模原事務所(いずれも神奈川県が所管)が

管理しています。両事務所に要望を伝えており、両事務所とも災害復旧事業について今年5月ごろ、遅くとも梅雨時まで完了する予定です。河川の将来整備計画については現在検討中であり、具体的な工程表は相模原市から提示して頂けませんでした。

**<質問>** 相原駅周辺の町田市道3・4・49号線と3・4・47号線の進行状況について。

**<回答>** 中村公会堂から町田街道(旧・八千代銀行まで)約180㍍の3・4・49号線(相原南北線、幅員16㍍)は2009年3月で用地買収が一応完了予定。2009年度は電線共同溝の工事、2001年度は道路整備工事を計画しています。また、町田街道から相模原市に抜ける相原橋まで延長約120㍍は2010年度、2011年度に用地取得を完了して、2011で電線共同溝の工事、2012年度に道路整備工事を予定しています。相模原市とは相模原市側の都市計画道路を整備して2012年度に橋の架け替えも含めて完了することで確認しています。3・4・49号線の八王子側に関しては都の計画では2015年までに実施することになっており、3・4・49号線の相原橋から中村公会堂間の進行状況を見ながら八王子市と協議していきたい。

相原駅西口広場から中村公会堂までの3・4・47号線(相原駅西口線、延長約150㍍、幅員20㍍)は2010年度電線共同溝工事、2011年度道路の築造を考えています。このため、2009年度は用地取得、警視庁協議、電線共同溝の協議を進めていきたい。

**<質問>** 町田街道から相原中央公園多目的広場までの道路拡張について。

**<回答>** 2008年度、2009年度の2カ年間で相原小学校先の交差点から相原中央公園多目的広場まで延長約200㍍の幅8㍍(子どもセンター側に歩道2㍍、車道6㍍)で築造を計画しています。2008年度は用地測量を行い、2009年度は用地買収に入り、用地買収終了後、速やかに工事築造に着手します。

## 「NPO法人レスポアール相原」が中央公園指定管理者に

町田市では昨年9月より公園やスポーツ施設の管理運営を指定管理者に委託する制度を導入しました。相原中央公園もその一つになりました。指定管理者制度説明会には、46団体の業者・法人が参加し、相原中央公園の指定管理にも10数団体の業者・法人が申請されたと聞いています。書類審査で3団体に絞られ、プレゼンテーション、ヒヤリングの結果、昨年12月19日に相原中央公園指定管理者に「NPO法人レスポアール相原」が認定されました。

NPO法人レスポアール相原は今年4月から町田市スポーツ振興公社より管理運営を引き継ぎました。地域の各種団体との協力のもとに、各事業にあたり、公園利用者の満足度の向上を図っています。

### 指定管理者委託制度とは

町田市の指定管理者委託制度は、今回は審査委員による各団体の申請書類審査と2次審査後、市議会で最終決定されました。その後、町田市と協定を取り交わし、その内容の中で公園・スポーツ施設の管理運営が任されています。この制度は町田市の財政節約政策と施設の有効・効率利用の1つとして導入したものです。すでにゴミ収集民間委託や自然休暇

村（長野県川上村せせらぎの里）の指定管理者委託は、数年前から導入しています。

また、市は相原中央公園の管理運営をNPO法人レスポアール相原に全て任せ、主管である公園緑地課に毎月10数項目にわたる報告書の提出を義務付け、管理監督をしています。

### NPO法人レスポアール相原とは

NPO法人レスポアール相原は、相原中央公園建設促進委員会を前身とし、昨年9月8日に認定された新しいNPO法人です。「レスポアール」とはフランス語で「希望」の意味を持つ言葉です。希望あふれる公園、希望を持てる公園づくりを目指そうとの願いを込めて名付けたものです。

組織は理事8人、監事2人、会員（社員）25名で構成されています。理事・監事は相原中央公園建設促進委員会の役員がなり、相原中央広場運営委員会の歴代の会長、健全育成相原地区委員会・NPO法人相原JAO会・相原中央広場運営委員会の各代表者と東京家政学院副学長で構成されています。なお、理事長は北島一夫氏、公園園長兼副理事長に井上善夫氏です。

### 相原中央公園に300本のアジサイを植栽



NPO法人レスポアール相原の主催で6月14日（日）相原中央公園に300本のアジサイが植えられました。これは相原中央公園完成時より計画されていたもの。子供たちも含め約60名が参加して朝10時より行われました。場所は中央芝生広場の東側道路沿いです。来年からは色とりどりのアジサイが相原中央公園の名物になることでしょう。

## オープンした相原子どもセンター「ぱお」

相原子どもセンター「ぱお」が4月5日、相原中央公園のすぐ隣にオープンしました。開所式では石坂市長も出席して盛大に行われました。

子どもセンターは0歳の乳児から18歳までの青少年のための遊びや仲間づくりの場、子どもたちが自由に安心して利用できる施設です。町田市では南地域の「ばあん」(金森) 鶴川地域の「つるっこ」(大蔵町)に次ぐ3館目となる大型児童館です。

子どもセンターは相原まちづくり協議会、相原町連合町会、健全育成相原地区委員会、各子ども会、各PTAによる子どもセンターの誘致活動が実を結んだものです。市では建設に当たって「自然に囲まれた公園やスポーツ広場を活かした子どもセンター」「地域全体で子ども健全育成を支える子どもセンター」を基本方針に掲げて施設を整備しました。建物は鉄筋コンクリートの2階建てで、音楽スタジオ、球技ができるプレイルーム、創作アトリエ、図書館、乳児室、学童保育室、外

に滑り台などがあります。土地取得を含め総工費4億6千万円です。

開館時間は午前10時から午後9時までです。

館名の「ぱお」はモンゴル草原に設営される遊牧民のテント様式の住居「パオ」(包)から名付けています。「パオ」は旅人がいつでも立ち寄れるようになっていいることから、誰でも自由に遊べ、みんなを優しく受け入れてくれる施設です。



## 花の町相原推進委員会からのお知らせ



花の町相原推進委員会は相原地区を花で飾る(花いっぱい運動)を推進して行く目的で活動を始め8年を迎えました。現在は6ヶ所の花壇、中村花壇(相原三叉路)仲町花壇(境市民センター前)相原駅西口プランター花壇、中村花壇(中村会館裏)丸山花壇(諏訪神社入口)武蔵岡花壇(団地内)を管理し、春と

秋に花を咲かせ道行く方々のめを楽しませていきます。春の町田市花壇コンクールでは優秀賞 努力賞を頂きました。町田市公園課の話では市内に330団体の花壇が登録されていてこれからも花壇を増やし競いながら綺麗な花を咲かせて行きたいと思っております。現在の会員数は40名程ですが多くの会員を募集していますので、ご加入をお待ちしています。なお今年度より委員長に小野寺豊雄氏(元橋)選任されました。

連絡先 小野寺・772-9722

札元・771-4760 までご連絡下さい。

入賞した相原地区の団体は下記の通りです。

優秀賞	「花の町相原」境花壇	町田街道・相原三叉路	道路
優良賞	元橋 花の会	元橋会館近く(相原町)	道路
優良賞	武蔵岡団地8号棟 花壇同好会	都営武蔵岡アパート8号棟前(相原町)	公園・団地等
努力賞	丸山団地「ふれあい花壇」運営サークル	丸山団地内(相原町)	道路
努力賞	NPO 法人相原さとやまの会 管理棟前	相原中央公園内	公園・団地等
努力賞	「花の町相原」仲町花壇	仲町子ども広場内・町田街道側	

**平成21年度相原町会長名**

連合町内会会長	中村会長	横溝	廣喜
連合町内会長代行	武蔵岡会長	平山	富士雄
連合町内副会長会計	元橋会長	和光	淳
連合町内副会長会計	丸山会長	木下	正秋
連合町内副会長監査	中相原会長	吉野	蔵弘
連合町内副会長監査	仲町会長	大西	孝一
連合町内副会長庶務	境会長	篠崎	秀秋
連合町内副会長庶務	坂下会長	河出	孝一
連合町内副会長庶務	陽田会長	龍	敏彦
連合町内副会長庶務	丸山団地会長	山口	征一
連合町内副会長庶務	大戸会長	田中	記一

**夏祭りスケジュール**

7月19日	(日)	丸山	仲町
7月24/25日	(金土)	武蔵岡	
7月25日	(土)	坂下	陽田 丸山団地
7月31日	8月1日(金土)	大戸	
8月1日	(土)	中村	境
8月8日	(土)	元橋	
8月22日	(土)	中相原	

**その他の行事**

7月4/5日	(土日)	境市民センター祭り
8月15日	(土)	下相原大祭り
8月16日	(日)	諏訪神社例大祭
8月22日	(土)	大地沢祭り
10月11日	(日)	相原フェスタ

**相原まちづくり協議会**



相原まちづくり協議会は4月29日に丸山公会堂で平成20年度定期総会を開きました。総会は理事・監査のほか、各町内会・自治会からそれぞれ2名の代議員が参加しました。来賓として国会、都議会、市議会の各議員、連合町内会会長、相原保善会理事長、町田消防署西町田出張所長のみなさんが出席しました。総会は杉崎太吉理事長から「相原は他の地

**総会で活動計画を決定**

域と違い、人のつながりの強い地域のネットワークがあります。市の中心から遠く離れた相原を住みよい街にするには、相原地区連合町内会をはじめとする強いネットワークの力が必要です」とあいさつ。20年度活動報告、20年度収支決算報告、21年度活動方針・計画、21年度予算が原案通り決定しました。21年度の具体的事業活動では、相原まちづくり協議会主体の活動として 講演会 研修会 中長期構想に基づく提案 「あいとぴあ」発行 「夕焼け小焼けの里」の街おこし事業。また、地域支援活動として 大戸踏切立体化・町田街道の拡幅整備の実施計画と促進活動 相原駅周辺の東西広域整備・商業活性化・住宅整備 下水道工事・インフラ整備 相原中央公園・町田市子どもセンター「ぱお」等の運営に関する市民協力 相原地域の道路網整備計画 境川流域改善計画の相原側改修 大戸緑地を中心とする都有地・私有地の将来計画です。

**研修旅行に栃木県真岡周辺へ**

相原まちづくり協議会は3月15日にSLと益子焼きで町おこしをした栃木県真岡市などに研修旅行をしました。参加者は相原まちづくり協議会の理事、地元有志など32名が参加し借切バスで行きました。



## 消防団ポンプ操法大会開かれる

町田市消防団第五分団 29回消防ポンプ操法大会が6月14日相原中央公園で開かれました。町田市消防団第五分団は小山相原地区の住民の生命財産を災害から守る重大な任務を果たしています。ポンプ操法は消防活動の基礎であり平素の訓練成果を発揮するため技を競う大会です。入賞は優勝が第5部(相原地区)

準優勝は第2部(小山地区)3位が第3部(小山地区)です。

入賞者は町田市消防団ポンプ操法大会に出場します。

第5部の選手は田中哲 木下武史 内藤健司 小杉直之 稲玉富雄の各氏。



## 初期消火活動で消防署から感謝状

町田消防署(田中英夫署長)は4月27日、初期消火などで功労のあった相原町丸山地区の5人に署長感謝状を贈呈しました。

この火災は4月20日午後6時20分ごろ、相原小学校の東隣の民家の物置で発生しました。地域住民5人、相原小学校教諭11名が、いち早くかけつけ、119番通報、バケツリレーなどで初期消火を積極的に行いました。物置は全焼したものの、延焼の拡大危険があった

南隣の民家を消防隊が到着するまでの間、身の危険をかえりみず、連携して延焼を阻止しました。

渡邊町田消防署西町田出張所長は「日頃の防災訓練を通じて地域の皆さんの隣保共助態勢と自主防災意識の高さが結果として今回の成果に結びついたのでは」と語っています。功労があった丸山地区の5名は青木照夫、青木直之、池田孝光、石井悟、木下博幸の各氏。

## 「夕焼け小焼け」の鐘はどこの寺か

中村雨紅が作詞した「夕焼け小焼け」の舞台は相原町であると、相原まちづくり協議会は夕焼け小焼け研究会を設置し調査しています。これは中村雨紅が「夕焼け小焼け」を作詞した時に中相原地区の中村家(諏訪神社の宮司)の養子になっていたからです。中村氏は後年になって「どこで、どんな場合に作詞されたかについて35、6年も前の事ではっきり覚えていない」と語っていますが、おそらく夕方の帰宅時に、相原駅から中村家まで、歩きながら、美しい夕焼けの空、山に帰るカラスの大群を見ながら、鐘の音を聞いていたと想像されます。その場合、鐘の音は、どこの寺のものか、調べてみました。中相原地区の古老は相模原市城山町の普門寺の鐘がよく聞こえたと言っています。普門寺の鐘は第二次大戦の時、抛出したため、現在、ありません。



また、相原町では、坂下の清水寺(写真)、丸山の長福寺、大戸の円林寺、大戸観音堂にも鐘があり、よく鐘の音が聞こえていたと思われます。